

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公開番号】特開2006-42390(P2006-42390A)

【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2005-288458(P2005-288458)

【国際特許分類】

H 04 B 7/08 (2006.01)

H 04 B 7/26 (2006.01)

H 04 B 1/707 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/08 D

H 04 B 7/26 D

H 04 J 13/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月19日(2007.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

单一の専用C D M A符号に関連づけられた通信信号を処理するモデルであって、前記モデルは、

(a) 前記通信信号を受信する適応型整合フィルタと、

(b) 自分自身によって決定される信号歪に基づいて前記適応型整合フィルタについてのフィルタ係数を生成するベクトル相関器と

を備え、

前記ベクトル相関器は、前記決定された信号歪に対応する予め定められたチップ分の遅延に少なくとも等しい処理容量を有することにより、前記決定された信号歪を補償し、かつ前記受信信号の雑音付き推定値を等間隔に生成することによってマルチパス歪を補償し、

前記適応型整合フィルタは、前記ベクトル相関器によって生成されたフィルタ係数を使用して前記单一の専用C D M A符号に関連づけられた個別の通信信号を処理することにより、前記決定された信号歪についての補償にある程度起因する信号利得の増加が実現されることを特徴とするモデル。

【請求項2】

(c) 前記ベクトル相関器に結合され、前記通信信号をデジタル信号に変換するアナログ-デジタル変換器と、

(d) 前記ベクトル相関器及び前記アナログ-デジタル変換器に結合されたトラッカーレート回路であって、前記デジタル信号を供給する前記変換器を制御するトラッカーレート回路と、

(e) 前記ベクトル相関器及び前記適応型整合フィルタに結合された搬送波再生位同期ループであって、前記ベクトル相関器に搬送波オフセット位相の補正信号を供給する搬送波再生位同期ループと、

(f) 前記適応型整合フィルタに結合され、逆拡散ずみのフィルタ出力信号を出力する

少なくとも一つのトラフィック逆拡散器と、

(g) 前記少なくとも一つのトラフィック逆拡散器に結合された自動電力制御(A P C)であって、信号強度制御信号を生成する自動電力制御(A P C)と
をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のモデム。

【請求項 3】

前記ディジタル信号は、それぞれが同一の位相歪を有するディジタルデータ信号及びディジタルパイロット信号を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のモデム。

【請求項 4】

前記ベクトル相關器は、前記搬送波再生位同期ループと連携して、前記ディジタルパイロット信号の前記位相歪に基づいてフィルタ係数を決定することを特徴とする請求項 3 に記載のモデム。

【請求項 5】

(h) 前記トラフィック逆拡散器及び前記 A P C に結合されたヴィタービ復号器と、

(i) 前記ヴィタービ復号器に結合されたディジタルアナログ変換器と
を備え、

前記ヴィタービ復号器及び前記ディジタルアナログ変換器は、前記逆拡散ずみのフィルタ出力信号を処理することを特徴とする請求項 2 に記載のモデム。

【請求項 6】

前記ベクトル相關器は、前記通信信号が伝送されるチャネルの実数部及び虚数部の両成分を有する複素インパルス応答の推定値を供給することを特徴とする請求項 1 に記載のモデム。